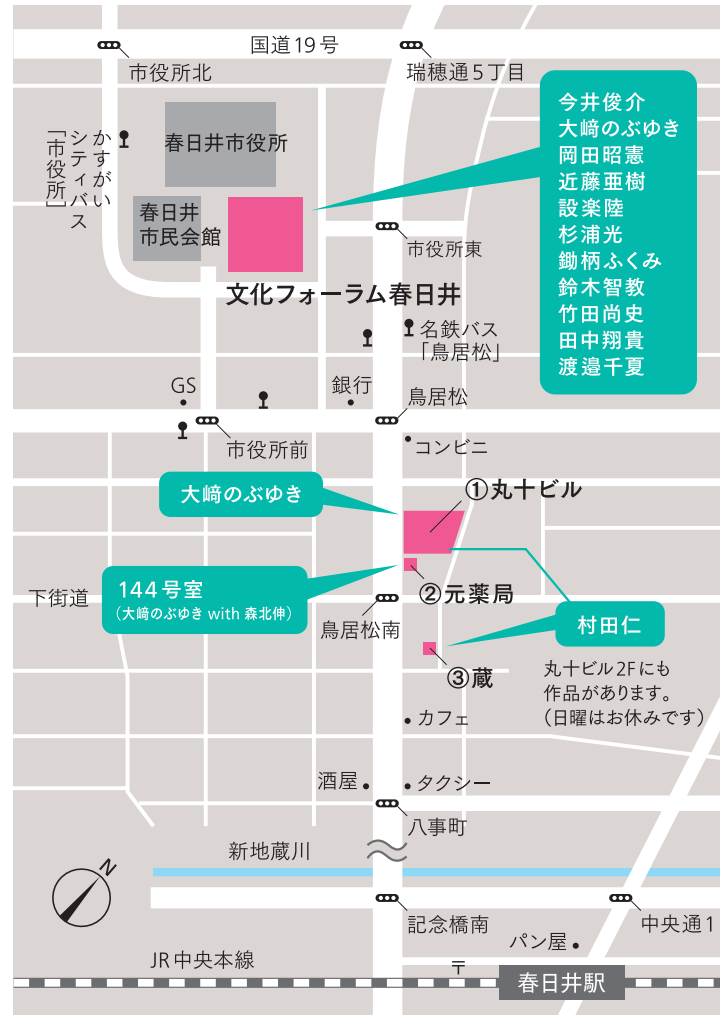


会場のご案内

【作品鑑賞にあたってのお願い】
ビルの居住者、店舗のお客様、図書館の来館者など、周囲の方々へのご配慮をお願いします。
また、まちなか会場をご覧になるときは交通マナーをお守りください。



文化フォーラム春日井

愛知県春日井市鳥居松町5-44

【アクセス】
JR中央本線「春日井駅」北口より
・名鉄バス「鳥居松」下車西へ徒歩2分
・北へ徒歩20分
・かすがいシティバス「市役所」下車南へ徒歩2分
※駐車場台数に限りがあります。
なるべく公共交通機関をご利用ください。

まちなか会場

愛知県春日井市鳥居松町、八事町

- ① 丸十ビル 2F, 3F, 4F (2Fは日曜休み)
 - ② 元薬局
 - ③ 蔵
- ※まちなか会場へ文化フォーラム春日井は徒歩5分程度です。

公益財団法人かすがい市民文化財団
TEL 0568-85-6868
愛知県春日井市鳥居松町5-44

関連プログラム

※参加費は全て無料です。

01 アーティストワークショップ

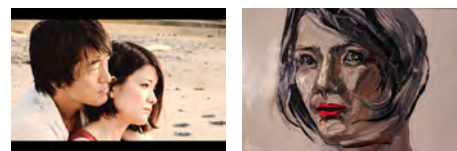
鈴木智教「relation portrait (リレーションポートレート)」



ペアで参加し、ピントがぼけた状態でセッティングされたカメラのピントを徐々に合わせ、相手だ!と認識できた瞬間にシャッターを押します。人と人との関係の不思議さを具現化するワークショップです。

会場：文化フォーラム春日井・1F
日時：1月30日(土)、31日(日)、
2月6日(土)、7日(日)、11日(祝)、13日(土)、
14日(日)、20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)
11:00-16:00
定員：各日先着20組(2人1組) ※随時受付

02 近藤亜樹作品「HIKARI」上映会



近藤亜樹「HIKARI」2015年 ©the artist, courtesy ShugoArts

油絵アニメーションと実写で構成される短編映画を上映します。3、4、5回目は作家が来場し、上映後にミニトークを行います(10分程度)。

会場：文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
日時：2月27日(土) 11:00-16:30

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
11:00 -11:30	12:00 -12:30	13:00 -13:30	14:00 -14:30	15:00 -15:30	16:00 -16:30

開場は各回15分前
※完全入替制、途中入場はできません
定員：各回140名

03 創作コーナー「ふしぎなにじ」



渡邊千夏
《ふしぎなにじ》
2015年

渡邊千夏の鏡の絵本『ふしぎなにじ』にマグネットのパーツで模様をつけ、自分だけの不思議な世界を体験します。どなたでもご参加いただけます。

会場：文化フォーラム春日井・キッズコーナー(1F)
日時：会期中毎日10:00-16:30

04 アーティストトーク

会場：文化フォーラム春日井・ギャラリー
日時：1月30日(土)、2月28日(日)
いずれも14:00-

※参加アーティストの情報は、あいちアートプログラムウェブサイトURL: <http://aichi-art.com> にてご確認ください。

05 愛知芸大芸術講座 トークイベント「144号室についてあれこれ」

大崎のぶゆきと森北伸が、出品作品や本展タイトル「となりの人びと」をキーワードにトークを行います。

会場：文化フォーラム春日井・会議室
日時：2月20日(土) 14:00-15:30(開場は15分前)
共催：愛知県立芸術大学



144号室
(大崎のぶゆき
with 森北伸)

06 キュレータートーク

キュレーター(学芸員)が展覧会の見どころなどを紹介します。

会場：文化フォーラム春日井・ギャラリー
日時：①2月3日(水)、②2月11日(木・祝)
いずれも14:00-

- ① 鳥羽都子(かすがい市民文化財団)
- ② 拝戸雅彦(あいちトリエンナーレ2016チーフ・キュレーター)

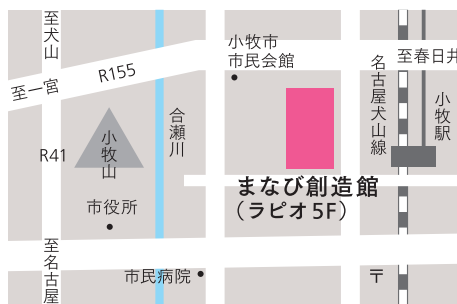
おでかけ展示

小牧市まなび創造館
瀬戸市瀬戸蔵

参加アーティスト：岡田昭憲、設楽陸、杉浦光、鈴木智教、竹田尚史、田中翔貴、渡邊千夏

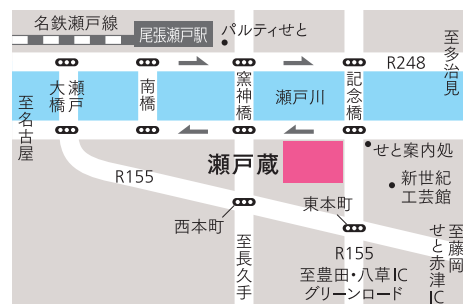
会 場	小牧市まなび創造館	瀬戸市瀬戸蔵	
住 所	小牧市小牧三丁目555番地	瀬戸市蔵所町1－1	
会 期	2016年2月9日（火）－2月14日（日）	2016年2月17日（水）－2月21日（日）	
開場時間	10:00－17:00		
観覧料	無料		
おでかけ展示関連プログラム	アーティストワークショップ （参加無料）	竹田尚史「となりの世界の となりの島の」 アート作品の島でみんなの空想していることをかたちにしてみよう。小さな島に遊びに来ませんか。	
		日時：2月14日（日）14:00－16:00 随時ご参加いただけます。	日時：2月21日（日）14:00－16:00 随時ご参加いただけます。
	創作コーナー （参加無料）	日時：2月13日（土）10:00－17:00	日時：2月20日（土）10:00－17:00
		10:00より受付開始。材料がなくなり次第終了となります。	

小牧市まなび創造館



名鉄小牧線「小牧駅」より徒歩5分

瀬戸市瀬戸蔵



名鉄瀬戸線「尾張瀬戸駅」より徒歩5分

協賛

名古屋競馬株式会社
中部大学
名古屋造形大学

中部ケーブルネットワーク株式会社
株式会社ホテルプラザ勝川
木野瀬印刷株式会社
株式会社エコー
名古屋芸術大学

今井俊介
大崎のぶゆき
岡田昭憲
近藤亜樹
設楽陸
杉浦光
鋤柄ふくみ
鈴木智教
竹田尚史
田中翔貴
144号室
(大崎のぶゆき with 森北伸)
村田仁
渡邊千夏

となりの人びと in 現代美術 春日井

Guide Book

Through the Window
Contemporary Art in Kasugai

2016.1.30 sat - 2.28 sun

10:00-17:00 | 月曜休館

文化フォーラム春日井
まちなか会場(丸十ビル・元薬局・蔵)

主催：あいちトリエンナーレ地域展開事業実行委員会、
春日井市、公益財団法人かすがい市民文化財団
共催：瀬戸市、小牧市、小牧市教育委員会

文化庁 平成27年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業
助成：(一財)地域創造 認定：(公社)企業メセナ協議会

AICHI ART PROGRAM
一虹のキャラヴァンサライに向けて—



「となりの人びと」とは、誰のことでしょうか。

春日井市がもつ地域性を意識したり、作家の新たな一面をみせる作品を通し、

今日の社会や美術の「となり」の多様な一端にふれてみてください。



メイン会場

文化フォーラム春日井

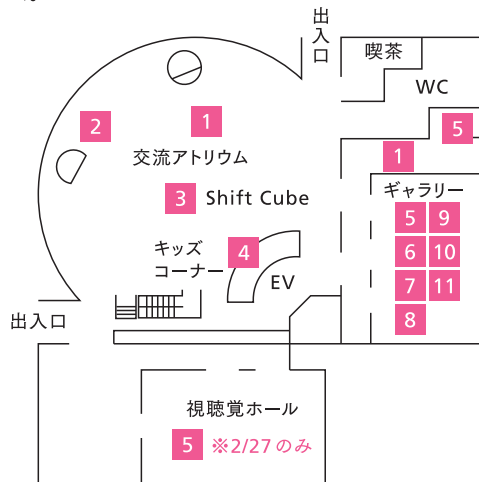
ガラス張りが印象的な建物は、

春日井市の文化芸術活動の核となっているアートセンター。

作品は、1階のオープンスペースやギャラリーの他、

3階図書館にもあります。お見逃しなく。

※都合により、レイアウトが
図と異なることがあります



1F

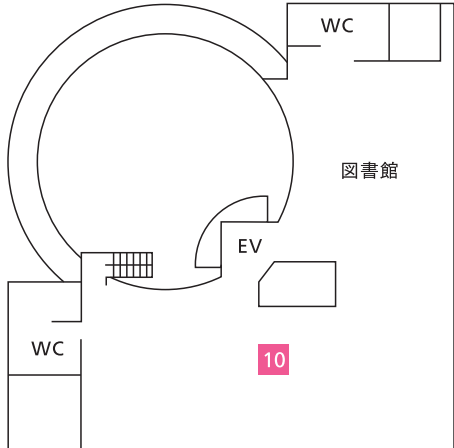
ギャラリー

交流アトリウム

Shift Cube

キッズコーナー

視聴覚ホール



3F

図書館

1



《空気になる私》2011年

竹田尚史

Hisashi TAKEDA

科学的現象を創作に生かし、世界の真理を思考する巨大作品で、開放的な吹き抜けスペースを日常から浮遊する異空間に変容させます。

竹田尚史：1976年愛知県生まれ、春日井市在住。自然科学的なテーマに関心を寄せ、「あいちトリエンナーレ2013」などにおいて、科学的現象と美術表現を行き来する作品を発表。

2



《Little Journey》2015年

岡田昭憲

Akinori OKADA

春日井の街でロケをした新作ストップモーションアニメと、切なさや希望を感じさせる“映像詩”。異なる表情を見せる2作品を発表します。

岡田昭憲：1979年愛知県生まれ、春日井市在住。「あいちトリエンナーレ2010」など。さまざまなアニメーション手法を用いたり、メディアアートに参画するなど活動の領域を広げている。

3



《Untitled》2014年
©Shunsuke Imai,
courtesy of HAGIWARA PROJECTS

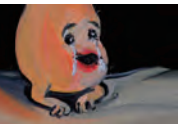
今井俊介

Shunsuke IMAI

立体物が平面に移行されることによって生じる違和感を、拮抗する色面と形で構成される独自の表現で、「観る」という行為に挑戦します。

今井俊介：1978年福井県生まれ、東京都在住。平面の中に現れる三次元性を鮮烈に提示した「shiseido art egg, range finder」（資生堂ギャラリー、2014年）などで注目される。

5



《HIKARI》2015年
©the artist, courtesy ShugoArts

近藤亜樹

Aki KONDO

油絵アニメーションと実写で構成される短編映画、原画等を出版。東日本大震災を経て一筋の希望を持って生きていくという想いを込めた作品です。

近藤亜樹：1987年北海道生まれ、東京都在住。「近藤亜樹の生態」（実家 JIKKA / 東京、2013年）、グループ展に「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」（東京オペラシティ、2015年）など。

7



《Portrait of zinc》2015年

田中翔貴

Shoki TANAKA

化学反応で成される写真表現と人工的な痕跡を混在させ、写真と絵画の中間にある可能性を追求。積み重なった時間や気配の痕跡を留めていきます。

田中翔貴：1989年愛知県生まれ、同県在住。文化フォーラム春日井の「美系優秀2012」「ShiftCube vol.26 それは、かすれる記憶とひきかえに」などにおいて作品を発表し、注目される。

10



《Rings》2015年

設楽 陸

Riku SHITARA

少年たちに大きな影響を与えたテレビゲームの表現や世界観を、自身の中で熟成翻訳。絵画・陶・ノートとして紡ぎだします。

設楽陸：1985年愛知県生まれ、同県在住。「ポジション2012」（名古屋市立美術館）などにおいて、少年時代にふけた想像を『歴史の妄想ノート』などで表現し注目される。

8



《relation portrait (リレーションポートレート)》
2009年〜

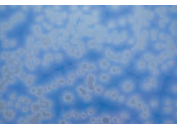
鈴木智教

Toshinori SUZUKI

関係性の可視化を促す作品を発表。会期中の土日祝には、参加者が撮影者／被写体となるワークショップを行い、展示の一部としていきます。

鈴木智教：1982年愛知県生まれ、同県在住。相反する関係性に興味を注ぎ、「横浜トリエンナーレ2011」連携プログラムの「BankART Life III、新・港村、新ナゴヤ島」などにおいて作品を発表。

9



《All Blue -expansion- II》
2014年

杉浦 光

Hikaru SUGIURA

青や銀などの硬質な色面に点描を打ち続けるという“ルール”に基づく制作手法を続け、描くことをめぐる行為の集積を発表します。

杉浦光：1989年静岡県生まれ、愛知県在住。文化フォーラム春日井では、「美系優秀2012」「ShiftCube vol.23 METHOD」（2013年）の2回作品を発表。

となりの人びと

現代美術in春日井



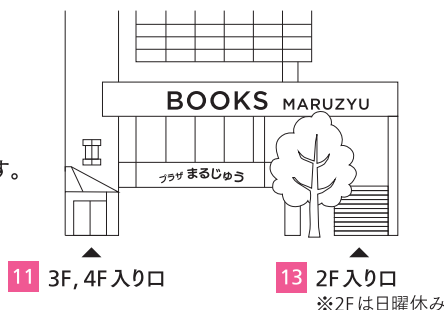
まちなか会場1

丸十ビル

1階のスーパーが目印、春日井の老舗書店が入るビル。

3階、4階会場はバス通りからみて、向かって左側から入ります。

右側の階段を上る2階書店奥のスペースにも作品が。



11

大崎のぶゆき

Nobuyuki OSAKI



《Trace Trip, Time Capsule (H.K.) #04》2014年 ©Nobuyuki Osaki,
courtesy of Yuka Tsuruno Gallery

「下街道（善光寺道）」を歩いて取材した作品と、愛知県出身H.Kさんの記憶や記録をトレースして制作した作品を展示。〈痕跡、記憶、時間、変容〉といったイメージから、過去-現在-未来へと思考する空間を創りだします。

大崎のぶゆき：1975年大阪府生まれ、愛知県在住。「未見の星座」（東京都現代美術館、2015年）など、実在と虚構、感覚と認知といった考察から、流動的な世界について思考する作品を展開している。

まちなか会場2

元薬局

12

144号室

（大崎のぶゆきwith森北伸）
room144
（Nobuyuki OSAKI with
Shin MORIKITA）



《144号室のためのドロワーイング》
2015年

名古屋出身の森北が部屋をつくり、関西出身の大崎がそこに住むように手を加え空間を作っていく。そのようなやり取りから、ニュータウン春日井を体現するような共作を試みます。

144号室：大崎のぶゆきと森北伸によるユニット。

森北伸：1969年愛知県生まれ、岐阜県在住。「あいちトリエンナーレ2013」、「森北伸個展」（ギャルリももぐさ、2015年）

まちなか会場3

蔵

13

村田仁

Jin MURATA



《蛙の国会、人の町》2015-16年

春日井に生誕伝説がある小野道風の逸話から着想を得て、町に眠る声や活動を表出させます。蔵と丸十ビルから、まちなかに詩を広げます。

村田仁：1979年三重県生まれ、愛知県在住。文化フォーラム春日井の「美系優秀2003」、「ShiftCube vol.2鉛筆だけが帰ってくる」（2009年）などにおいて作品を発表。土地や人の内面から詩を書き、詩を行為として展開している。